

総合内科コース（総合内科）

（１）コースの全体像

① 総合内科専門医コース、②開業医・家庭医コース、③大学院コースから選択できる。①総合内科専門医コースでは、認定内科医を卒後４年目で、総合内科専門医を卒後７年目で取得する。内科領域サブスペシャリティの専門医（消化器専門医、糖尿病専門医、リウマチ専門医、アレルギー専門医など）も取得できる研修も行っているため、複数の専門医の取得が可能である。４年のうち１-２年は、内科学会認定教育病院等での研修を行う。②開業医・家庭医コースは、プライマリ・ケアを専門とするコースである。小児科、救急部等プライマリ・ケアに必要な数科のローテーションを行い、卒後７年目で総合内科専門医の取得を目指す。なお、１年間は診療所での研修を行う。③大学院コースでは、主に研究を行って英語での博士論文を作成し、卒後６年目での医学博士取得を目的とする。社会人大学院生として、臨床研修期間中の夜間に研究を行うことも可能である。

岐阜大学病院 総合内科コース

- ①総合内科専門医コース
- ②開業医・家庭医コース
- ③大学院コース

認定内科医取得

総合内科専門医・医学博士取得

	卒後3年目	4年目	5年目	6年目
①総合内科専門医コース	大学病院	大学病院	教育病院	教育病院
②開業医・家庭医コース	大学病院	大学病院	教育病院	診療所
③大学院コース	大学病院	大学病院	大学病院	大学病院

(2) コースの概要

大学病院・医療機関名	診療科名	専門分野名	指導者数	目的	養成（受入）人数	期間
岐阜大学医学部附属病院	総合内科	総合内科	4	総合内科・リウマチ・糖尿病等専門医取得・学位取得	3	4年間
岐阜赤十字病院	総合診療科	総合内科	1	総合内科専門医取得	1	1年間
岐阜県総合医療センター	総合診療科	総合内科	1	総合内科専門医取得	1	1年間
岐阜市民病院	総合内科	総合内科	1	総合内科専門医取得	1	1年間
羽島市民病院	総合内科	総合内科	1	総合内科専門医取得	1	1年間
診療所		在宅医療	1		1	1年間
				受入人数	3	1年間

(3) コースの実績

2012年4月現在4名が在籍している。2007年度の入院受け持ち患者数は、後期研修医1名あたり約80名で、ほぼ内科全領域を網羅しており、1年で認定内科医の申請に必要な症例数を経験することができた。2011年度は、内科学会地方会、病院総合診療医学会などでの症例や研究発表の機会が、後期研修医1名あたり年間3～4回あった。学位に関しては、主に生活習慣病等に関する基礎的・臨床的なテーマで研究を行っている。

(4) コースの指導状況

常勤の指導医5名は複数の専門医・指導医資格を有しており、幅広い疾患への対応や指導ができるようになっている。総合内科、消化器、消化器内視鏡、循環器、糖尿病、内分泌代謝、リウマチ、アレルギー、老年病の各専門医が在籍する。病棟・外来では内科全領域の疾患を受け持ち、毎朝の病棟カンファレンス、週2回の総回診と午後の救急診療を行う。研究は、指導者とともに種々の研究手法で進め、学位論文を仕上げている。

(5) 専門医の取得等

学会等名	内科学会、糖尿病学会、リウマチ学会、消化器病学会、消化器内視鏡学会、循環器学会、アレルギー学会、老年医学会、総合診療医学会、内分泌学会
資格名	総合内科専門医、糖尿病専門医、リウマチ専門医、消化器専門医、消化器内視鏡専門医、循環器専門医、アレルギー専門医、老年病専門医、内分泌代謝専門医
資格要件	認定内科医取得後3年間の教育病院での研修
学会の連携等の概要	
内科学会専門医部会東海支部事務局として、年2～3回の専門医部会教育セミナーを開催している。病院総合診療医学会・プライマリケア連合学会と連携して、専門医制度設立へ向けて進行中である。当科は、糖尿病学会・内分泌学会の認定教育施設に、アレルギー学会の準認定教育施設に認定されている。	